

アライアント国際大学・
カリフォルニア臨床心理大学院日本校
文部科学省指定 外国大学日本校

発見! ダイバーシティ

修了生からのメッセージ

**障がい者の母として生きてきた自分に
自信とチャンスを与えてくれました**

栗山 恵久子 さん (2011年修了生)

私がCSPPの存在を知ったのは59歳のとき。斎藤学先生が新聞のコラムでCSPPをいきいきと紹介されていたことがきっかけです。読んだ瞬間「何て楽しそうなんだろう…。私も行きたい!」と矢も楯もたまらなくなり、翌日には願書を提出していました。私には自閉症スペクトラムの特性をもつ知的障害の子がいます。大学時代に心理学を専攻し、小児自閉症の研究をしていたのですが、24歳のときに出産した長女がその自閉症でした。当時は自閉症が知られていなかったこともあり、周りの理解を得られることもできず、専門の相談先もありませんでした。あまりにも大変な日々につづ病になり、それでも自分の心のケアに割く時間さえとれず、「気軽に、子どものことも自分のこともトータルに相談できる先が身近にあったらどんなにいいだろう」との思いを30年以上抱き続けてきました。新聞でCSPPを知ったとき思ったのが「ここで学べば、長年の自分のその思いに応えてあげられる」ということ。60歳目前でしたが、何の迷いもなくCSPPに入学しました。

自分への自己評価が高くなり、新しい仕事のチャンスが広がった
入学してみると、私のように家族に障がい児がいる人や、いろいろな背景をもっている人がいて「どんな人が勉強してもいい」という雰囲気があり、多様性を大事にしてくれる環境のなか、孤立感を覚えることなく純粋に勉強を楽しむことができたというのが実感です。勉強時間の確保や学費の工面は苦労しましたが、長女の好きなテレビ番組のある夜8時～9時の1時間を自分の勉強時間にあて、節約できるところは節約するなどして乗り切り、3年のときは奨学金も少し頂いて

プロフィールDATA

現在の職業 ▶ 知的障害者の支援相談員、介護専門学校講師
入学時の職業 ▶ 介護認定調査員
保有資格

サンフランシスコでの授業に行きました。CSPPの勉強は確かに大変です。でも得るものもまた多いと思います。自分の意見の伝え方、論文の書き方、面接の仕方など、学びとして今も生きていることはたくさんありますが、私にとっては、それまでどん底とっていいぐらい低かった自己評価が高くなったことが、CSPPに入った最大の収穫ですね。障がいのある子どもの子育ては、どれだけ努力しても努力が報われない、形にならないことのほうが多い。けれども勉強はやればやるだけ評価されます。その経験を通じて、「やればできるじゃない。自分はそんなに劣っていないんだ」と自信がついたことが一番うれしいことでした。CSPPを修了したのは63歳ですが、その後、新しい仕事を始めることもできました。市の嘱託職員から介護専門学校講師に転職できたほか、CSPPで私の専門分野での講師としての仕事もいただいています。いろいろなチャンスをいただけるようになったのも、CSPPで勉強した日々があったからこそだと思っています。

●なぜCSPP?

入学の決め手となったのは何よりも「楽しそう。だったことです。入ってみると、カスカスだった脳が潤っていくような感じで、何もかもが楽しく、おもしろかったですね。

●ひと言メッセージ

年齢など関係なく、意欲さえあれば人生は変えられます。CSPPは、がんばればいくらでも勉強できるシステムになっていますし、充実した講義が受けられる3年間です。ぜひトライしてみてください。

**ひと言では言い表せない
多くのものを得ることができました**

七海 智江 さん (2009年修了生)

CSPPとの初めての出会いは、インターネットの斎藤学先生のサイトです。当時は子どもが不登校、父の介護も必要となり、上と下の世代に同時に問題が生じて「この謎を解きたい」と思っていました。加えて、続けていた女性の支援では、現状を変えることの難しさも実感していました。それらの解決策を求めてネットを検索していた時CSPPの存在を知ったのですが、英語の授業もあるし、勉強も大学卒業以来ご無沙汰。「私には無理」と躊躇していたところ、参加した西尾和美先生のワークショップで、西尾先生ご本人から「やってみなさい!」と背中を押され、様々な偶然の出会いも重なり、入学を決意しました。

現在の基軸を作ってくれたのは臨床実習

始めは「最後までやりきれぬのか」と不安もありましたし、blankがあった身にはCSPPの勉強は大変なことが多かったのも事実です。オンラインでの授業は、顔が見えない分、言葉や書き方に気を遣いますし、その難しさを実感することもありました。3年時の実習も、多い時は一人で10ケース抱えるなど、乗り切るだけで大変。でも臨床実習は、CSPPの勉強の中で最も自分の力になったと思います。厳しい分、それを乗り越えたことは大きな自信につながりましたし、臨床の現場を体験することで、「自分がやりたいと思っていたこと、やってきたことはこれでいいのだ」と実感が持てるようになり、未来への方向性が確認できて、現在の自分の基軸を作ってくれたと思います。

気づき、仲間、つながり、いただいたものは大きい

CSPPで学ぶとさまざまな気づきを得られます。私の場合は、自分

プロフィールDATA

現在の職業 ▶ 精神科クリニックカウンセラー・他
入学時の職業 ▶ パート勤務
保有資格 ▶ 臨床心理士

にもやり切れる力があるということに気づき、自分自身を発見する場が持てました。サンフランシスコの授業でアメリカの現場を直に見ることで、逆に「アメリカのやり方は確かにいいけど、そのままでは日本には合いそうもない」と気づいたことも収穫でした。自ら発信すれば、先生方は親身になって応えてくれますし、先輩方や同期はさまざまな背景をもつバラエティ豊かな人たちなので、自分にはない視点から多くの助けが得られます。先生方をはじめ、それぞれ苦楽を共にした人々と強いつながりが持てる経験も、そうそう出来ることではありません。CSPPで頂いたものは、本当に大きいと思います。

私のように「自分には無理」と思っている方がいたら、躊躇せず、飛び込んでみてくださいと言いたいですね。「大丈夫?私」と思っていた私が修了出来たのですから大丈夫です(笑)。

●なぜCSPP?

自分の抱えている疑問や思いを解決したかったから。入ってみると、目からウロコがたくさん落ちました。

●ひと言メッセージ

英語の授業が心配、自信がない、絶対ついていけないなど、迷ったり、不安を感じていたりするかもしれませんが、英語の授業には通訳がつきますし、手厚いサポートもあります。統計や他の授業でも、救いの道はたくさん用意されているので安心してくださいね。



アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院日本校

米国西部学校・大学協会大学委員会(WASC Senior College and University Commission)認定
文部科学省指定 外国大学日本校

〒101-0021 東京都千代田区外神田6-14-3-6F

TEL: 03-5298-6165 FAX: 03-3253-0724

E-mail: JapanMA@alliant.edu

<http://www.csppjapan.com>

Clinical Psychology Masters Program in Japan

California School of Professional Psychology

Alliant International University

One Beach Street, Suite 100, San Francisco, CA 94133-1221

TEL: (415) 955-2100 FAX: (415) 955-2179

<http://www.alliant.edu>

このパンフレットに記載されている情報は

アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院の都合により

事前の通告なく変更される場合があります。

詳細については必ず事務局にお確かめ下さい。

更新された内容によって閲覧者が被る損害については

アライアント国際大学・カリフォルニア臨床心理大学院が

一切の責任を負うものではありません。